

はじめに

はじめましてヤザキタケシ改め矢崎悠悟と申します。

わたくし一介の舞踊手、振付師、役者でございます。一般社会で言うところのはぐれ者でも言いましようか。

三十数年間この世界だけで生きてまいりました。20歳前後からこの世界に入り、気づいたらもう半世紀を超えていたという状況に呆然といたしておる次第であります。

好きなこと、やりたいことだけをやってこられたこの人生に悔いなしと言いたいのではありませんが、人生とはそう簡単にはいかないのが面白いところでもあります。人生例外なく山あり谷あり、頂上手前付近（頂上までは行っていない）でいい気になり調子に乗ること数回、もう浮かばれないのではと諦めかけたこと数十回。何が正しくて何が間違っているかなんていまだにわかりません。手探りの道をいまだ歩んでいるところでございます。そのことを面白いと思えたらしめたもの。

そんな小生にも事、舞台に関しては、強く信じていること、信じて具体的にやってきたことがございまして、ここは強く押すべきなのかなと、気弱な自分に鞭を打ち、50を過ぎて五輪書をしたためた宮本

武蔵に習い、ダンスの極意書なるものをわたし流にしたためた次第でございます。

もしかしたら普通に生きる生き方のヒントにもなるのではないか、エッセイのような、旅日記のような趣もあり、ダンスをやっている方も全然関係のない方も楽に読める内容、文章になつていいるのではないかなあと希望的観測で思ったりもします。ぜひ一度お目を通していただけたら嬉しく思います。

それともうひとつ！ ダンスなんて、私には関係ないわ。と思つている方がほとんどだと思います。私も以前はまさにそうでした。でもですね、いえいえそんなことはございませんですよ。私もコンテンプラリーダンスの世界では、歩くこと、止まって何かを考えたり、誰かを待つている、携帯を取り出す、それを見る、その行為自体がダンスとして成り立ち、実際それで作品を作ったりもします。

普段一般の方々がダンスと認識するものは、音楽とともにあります。歌手の後ろで踊ったり（ショーダンス）、民謡と合わせたり（盆踊り）、クラシック音楽に合わせたり（バレエ）、現代音楽に合わせたり（モダンダンス）、DJの選曲に乗ったり（ストリートダンス）。そう！ 曲に乗って身体を動かす行為がダンスであると認識しています。

でも日常の何気ない世界を意識してみてください。蝶々が飛んでいる様や、鳥が異性を前に求愛している様や、子犬が尻尾を振って飛び跳ねている様や、ハエが飛んでいる様など、それに合う曲をかければ、ダンスそのものなのです。

もつと言えば車窓からヘッドホンで音楽を聴きながら外の景色を見ている。なんとも得がたい非日常の感覚を楽しむ、これはいわば景色が踊っていると言えなくもないのでは？

そうなのです、身近に！　すぐそばに！　気をつけてそこに意識を持つていけば！　そこら中にダンスは溢れているのです。私はそういう気づきの提案をしているのかもしれない！

自分の捉え方次第で難しくも簡単にもなるこの世界！　またそういうことが面白いと感じる感性を養っていったらいいなと思つてダンスを続けているのかもしれない。

まず初めに、ダンスとはなんの縁もゆかりもなかった私が、なぜパフォーマンスに進んで仕事にまでしたのかを紐解くために、小生の生い立ちにまで遡ってみようかと思ひます。

お付き合いのほど！　よろしくお願い申し上げます！